

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門					総務-15 職員厚生事務			タイムスコード及び個別事業名		
									471	災害補償事務	
主管課	職員課		関連課						509	福利厚生事務	
分野名	行財政運営								510	安全衛生事務	
目標 (目標値)	・職員の安全衛生向上 ・健康診断受診率の向上 ・定期健康診断の単価								511	総合健康診断事務	
人口等の データ	データ区分	21年度		20年度		備考					
	人口	176,669人		176,484人		・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯		77,430世帯							
運営資源 状況	決算値	73,631千円		85,027千円		指標と評価					
	(国・県) (負担金等)										
	(一般財源)	73,631千円		85,027千円							
	人員配置数	4.3人		4.3人							
	人件費	40,159千円		40,297千円							
	協働の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費	113,790千円		125,324千円		20年度	98	97.22			
	市民1人当 りの経費	644円		710円		21年度	98	98			
	対象者1人 当りの経費	81,278円		89,072円		22年度	98				
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	逗子市	23年度	98			
	事後指導	定期・ドック	定期・ドック	定期・ドック	定期のみ	定期・ドック	最終年度 (年度)	98			
	メンタル医相談	月3回	月1回	なし	月1回	月1回					
	過重労働対策	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・職員の労働環境における安全衛生面で、公務災害(通勤災害を含む)の発生件数が横ばいとなっている。 ・メンタル面での不調を訴える職員、長時間労働職員が増加傾向にある。									
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・21年11月から第4水曜日に加え、第2水曜日もノー残業デー重点取組日とし、職員の健康管理に対する取組みの充実を図った。 また、職員のメンタルヘルス・長時間労働対策については、市全体で取組むべき重要課題であり、安全衛生協議会等において、協議・検討が行ったところである。									
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・職員のメンタルヘルス・長時間労働対策については、早急な課題の解決は難しい状況にある。									
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・引き続き、効果的な取組みを検討しつつ、順次対応可能な事業から実施していく。									
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性	職員の健康管理、安全衛生対策については、重点課題と認識しており、引き続き、効果的な事業の充実を図っていくべきと考える。				評価結果	改善の必要性	今後とも、全庁的な取組みとして推進するべく、職場環境、職員交流の改善・充実なども通じながら取り組んでいく必要があると考える。			
A	有					A	有				
課長名		松永 健一				部名・部長名		総務部・小村 亮一			